夢・希望・未来に向かって ひと輝くまち

1

2015
月1日号

No.212

水平線に垂れ込めた厚い雲を抜け、ようやく顔を出した太陽。空も海も、橙(だいだい)一色に染め上げます。

Happy New Year !

主な内容

新春座談会……………………………… 2～7
ニュース＆インフォ…………………… 8～11
ごみを減らすひと工夫………………… 12～14
三船十段記念館「三船久蔵の生涯展」…………… 15
まちのわだい……………………………… 16～17
暮らしの情報……………………………… 22～23

平成27年新春座談会

新成人が考える これからの久慈

今年の新春座談会のテーマは「これからの久慈」。1月11日に行われる成人式の実行委員から8人の新成人をゲストに迎え、これからの久慈をどうしていくかを一緒に考えます。（7ページまで）

対談者

遠藤（えんどう） 譲一（じょうじ）市長
成人式実行委員長 宮澤（みやざわ） 泰斗（やすと）さん
成人式実行副委員長 橋本（はしもと） 涼平（りょうへい）さん
千代窪（ちよくぼ） 勇樹（ゆうき）さん
古屋敷（ふるやしき） 友陽（ともあき）さん
畠山（はたけやま） 甲代子（かよこ）さん
大澤（おおさわ） 郁恵（いくえ）さん
大向（おおむかい） 積（つもる）さん
新井野（にいの） 徳光（のりみつ）さん

■市長　本日は、市政の課題について、若い人の意見を聞き、発信したいということで、新成人を代表して成人式実行委員の皆さんに集まっていただきました。さまざまな課題について、率直な考えを伺いたいと思います。

人口減少を考える

■市長　人口減少問題は、本市が抱える最も大きな課題です。これを防ぐには、少子化対策とともに、若者の都市部への流出を止める必要があります。皆さんは、地元に就職した人が多いと聞いています。地元に残ることを決めた理由などを教えてください。

■宮澤　私は、長男ということもあり、両親の老後のことも考えて久慈で就職したいという思いがありました。

■市長　老後を見てくれる若い人がいるのは、とてもいいと思います。一緒に住んではいなくても、いざという時に頼れるだけでも安心感が違います。

■橋本　正直な気持ち、私は久慈が好きだから残ることにしました。

■大澤　歳の離れた姉が同じく地元に住んでいます。その姿を見ていたので、久慈で暮らし続けるのもいいな、と思っていました。また、将来はしっかり親孝行したいという思いもあります。

就職する時は、東京に出て行く友達の話を聞いて、私も行ってみたいという気持ちもありましたが「都会は都会で大変なのだから、地元に残った方がいいよ」という姉からのアドバイスもあり、地元での就職を決めました。

■新井野　実家が飲食店をしています。長男ですし、小さいころから「ここで働いていくのだろう」と当たり前に思っていて、地元に居たいとも都会に行きたいとも、考えたことはありませんでした。

考えが変わったきっかけは、高校2年生の時、市の海外派遣事業に参加してアメリカに行ったことです。異なる文化や大都市に魅力を感じた一方で、それを知ることで、今まで見えなかった久慈の良さが見えてきました。改めて久慈の魅力に気づき、久慈市で働きたいと強く感じるようになりました。

■市長　久慈のどのようなところに魅力を感じますか。

■古屋敷　やはり自然の豊かなところが魅力です。

また、久慈は、人がみんな親切だと思います。

■畠山　私は、祖父が山形町にいて、休日など一緒に山で遊んで育ちました。そのため、久慈がどんなに魅力的なところか知っているつもりですし、自分もここで子どもを育てていきたいな、と思っています。

■千代窪　現在、八戸で理容を学んでいて、卒業後は理容師の修行で5年間東京に行きます。技術や経営を学び、久慈に戻ってきて店を出したいと考えています。

父には、下積みを経験することで、さまざまな人の気持ちが分かるようになれと言われています。いろんな経験をした上で、今とは違った久慈の魅力に気づけるようになりたいと思います。

■大向　私は、中学校までは久慈で、高校のとき花巻に行きました。卒業後、どうするか迷いましたが、八戸の大学に行くと決めて久慈に戻ってきたとき、やはり久慈が自分の拠点なんだと、改めて感じました。単純に何かがあるから、という訳ではありません。やはり、故郷というのは特別なものなんだと思います。

地元で働くこと

■市長　地元に残らない理由として、久慈には就職先が少ないという声も聞きます。しかし、高校の新卒求人があっても応募がないと

宮澤　泰斗
Yasuto Miyazawa
久慈市水道事業所に勤務。今年の目標は「必死に食らいついて生きること」

橋本　涼平
Ryouhei Hashimoto
北日本造船株式会社に勤務。将来の久慈について「若者がもっと地元残り、今よりにぎやかになって欲しい」

千代窪　勇樹
Yuki Chiyokubo

八戸理容美容専門学校に在学。
将来の夢は「久慈を変える、市で一番のバーバーさん」

いうのが現状です。久慈で就職した人の視点から、地元を出ていく要因をどのように考えていますか。

■**宮澤**　まず、大学などに進学すると、必然的に久慈を出ることになります。進学した人の話だと、学んだことや取得した資格を生かせる就職先がないということです。

　また、高卒で就職する人の場合は、都市部の方が給与が高いし、服屋や喫茶店、遊ぶ場所があるということへの憧れが多いと思います。しかし、実際に行ってみると、家賃などの負担が大きかったり、人間関係が大変だったり、理想と現実のギャップが大きいという話も聞いています。

■**橋本**　同級生にも関東方面に就職し、仕事を辞めて帰ってきた人がいます。

　私も、以前は東京に出たいという気持ちもありましたが、実際に研修で横浜に行ったところ、1カ月経たずに「早く帰りたい」と感じました。何でもそうですが、向き不向きがあると思います。

■**宮澤**　高校などでも、地域の平均賃金と最低生活費など都市部に出ていくデメリットなども教えてくれる機会があるといいのかもしれません。メリットばかり見て、デメリットにまで目を向けない人が多いと思います。また、行政としても地元へ就職してもらえるように工夫する必要があるのかもしれません。

■**橋本**　私は久慈工業高校の出身です。就職重視の学校で、資格を取得するための勉強にも熱心で、私自身、とても役立ったと感じています。

　最近、工業高校がなくなるのではないかという話を聞きました。市長は「久慈には就職先があるのに残る人がいない」と言いますが、それならば実業系の学校を積極的に支援して欲しいと思います。

■**市長**　市内の企業や農林漁業従事者などと協力して、どんな仕事をしているのか情報発信したり、マッチングの機会を作ることも必要です。地元で就職してもらうために、学校任せではなく、積極的に手を打つ必要があると思っています。

■**古屋敷**　私は、盛岡の専門学校に1年間通いましたが、やはり盛岡の方が遊ぶ場所が多くて、魅力的だと感じました。久慈には久慈なりの魅力があると思いますが、それが全ての若者にとって魅力かというと違うと思います。

　また、妹がバレエを習っていますが、本気でバレエをやるために、八戸や盛岡の高校への進学を考えているようです。久慈では、本気で何かをやろうと思ったとき、それをできる環境がないために、出ていかざるを得ない部分もあると思います。

■**市長**　大きなまちと比べて、選択肢が少ないのは事実です。やりたいことが明確な人が「久慈ではできないから出ていく」のは、ある程度やむを得ないと思います。

　地元でできることを増やすとともに、それらの魅力を知ってもらえるように取り組んでいく必要があります。

　また、久慈には買い物や娯楽の場が少ないから魅力がない、と考える人もいますが、「久慈は久慈で魅力的だな」と感じられる人を、いかにキャッチするか、どうやって増やしていくか、ということも課題です。

■**畠山**　遊ぶ「場所」もそうですが、全体として給与水準が低いため、お金に余裕がないということもあるのではないでしょうか。

　実家暮らしは、一人暮らしより生活費の負担が軽いとはいえ、親に生活費を渡していますし、なかなか手元には残りません。

■**市長**　給与水準を引き上げ、現在の状況を変えていかないといけないと考えています。

　頑張って働く人が報われるように、企業にも「定着すれば、雇う側にもメリットが大きいので協力してほしい」とお願いしています。

■**橋本**　給与もそうですが、女性の働く場所が少ないと思います。今日、来ている2人もそうですが、就職先は事務職か介護職くらい。それでは、ある程度成績のいい人しか入れません。そうなれば、やはり外に出ていくことになるのではないでしょうか。

■**市長**　衣料関係で正社員の募集をしても、人が来てくれないという話も聞いています。他地域では、営業職や土木関係も女性が進出していますので、その辺りにも目を向けてもらう必要がありそうです。

にぎわう市街地へ

■**市長**　中心市街地ににぎわいを取り戻すため、活性化計画を見直しているところです。皆さんだったら、どのように活性化を考えますか。

■**大向**　いろんな施設を作ればいい訳ではないはず。何を作るかが重要だと思います。

　例えば、秋まつりの前夜祭の会場が駅前、市役所、土風館、アンバーホールと転々としています。私だったら、久慈の文化はここから発信するんだという拠点となる場所を作りたいです。

■**宮澤**　三陸鉄道もJR八戸線も本数が少ないので、駅周辺に待ち時間を過ごせる施設が必要だと思います。近くにコンビニすら無いので、駅前のホテルに泊まった人が、ちょっと買い物に行くとなると10分近く歩かなくてはいけません。これでは、久慈を「良いまちだな」と思う以前に「不便さ」が印象に残ります。

　不便でも問題ない部分もありますが、「当たり前」のものはやはり欲しいと思います。

■**大向**　久慈は、高校生が帰るのが早いなと感じます。花巻にも、コンビニやデパート、フードコートくらいで、特別なものはありませんでしたが、それでも遅くまで他愛もないおしゃべりをしていました。そういった場所が、大人が考えるよりも大事だったりするのではないかと思います。

　「地元のために何かしたい」「地元に残りたい」と思う心を育む時期の中高生が楽しめる場所を増やせれば良いのではないでしょうか。

■**市長**　駅前のコンビニなどは誘致も含めて取り組んでいます。店が全てではありませんが「あれもないこれもない」ではまちの印象が向上しないのも事実です。

■**橋本**　私は、活性化を目指すなら、もっとイベントを増やしてほしいと思います。

　例えば、秋まつりなどは、とても盛り上がっていますが、それ以外にも地域全体を巻き込んだイベントを開催すれば、もっと盛り上がると思います。

　夏なら花火大会をもっと大きくやりたいですし、冬なら雪合戦、海が近いので釣り大会とか。ばかばかしい案かもしれませんが、皆が集まって盛り上がれる機会を作ることが、活性化のきっかけになるのではないでしょうか。

■**千代窪**　確かに、秋まつり一本ではなく、夏まつりや花火大会など、秋まつりくらい力の入ったイベントが他の季節にも欲しいし、活性化のためにも必要であると思います。

■**市長**　イベントに参加するだけではなく、作る側、運営する側になってみるというのはどうでしょう。若者が主導してイベントを開催するなら、私も参加したいし、ぜひ支援もしたいと思います。

■**新井野**　物を買うだけなら、郊外のスーパーや通信販売で事足ります。まず、市街地全体で、もっ

古屋敷　友陽
Tomoaki Huruyashiki

県北広域振興局経営企画部支出入札課に勤務。
今年の目標は「今の仕事を完璧にこなせるようになること」

畠山　甲代子
Kayoko Hatakeyama

ひばり療護園に勤務。
今年の目標は「立派な社会人になり、親孝行すること」

大澤　郁恵
Ikue Osawa

株式会社ヤマイチに勤務。
今年の目標は「明るく、社会人としての自覚を持つ」

大向　積

Tsumoru Omukai

八戸学院短期大学に在学。
今年の目標は「受け身ではなく、自ら前に進む挑戦の年にすること」

と街を歩いて買い物すること自体を楽しめるような雰囲気作りが必要だと思います。

「あまちゃん」で、全国からお客さんがたくさん来てくれています。歓迎の気持ちを強く持って「また来たい」と思える街になるように努力しなければと考えます。

■橋本　確かに「入ってみよう」と思う店が少ないですね。

■市長　商店街自体の魅力向上は大きな課題です。一方で、多くの人がそう感じているということは、商売のチャンスであるともいえます。

「魅力ある店舗がないなら自分で作ってしまおう」と起業する人、商売を始めてみようという人が出てきて欲しい。そのために、経営ノウハウの指導や資金援助など、どのように支援していけるのか、銀行などとも話を進めています。

千代窪さんは、久慈に帰ってきて理容店を出したいとのことですが、どちらに？

■千代窪　私は、駅前に店を出したいと考えています。実際のところ、自分自身も含め中心商店街にもっと活性化してほしいと願う人がたくさんいると思います。

若者だけでなく、幅広い年齢層に親しんでいただける魅力ある店づくりに夢を膨らませています。

■市長　中心商店街が後継者不足でシャッター街になってしまうのは大きな問題。それだけに、自分で店を出したいという若い人がいるのは心強いです。

中心市街地の活性化のためにも、店は増やしたい。そのために、商売をやってみようという若い人に魅力的な店を作ってもらい、みんなでそれを利用して支えていく、そんな好循環でまわせるような支援策を考えています。

スポーツを通じて

■畠山　私は、スポーツが好きで、バレーボールのスポ少を指導しています。競技の技術や楽しさを教えるというだけでなく、スポーツを通して人間性みたいなものも伝える機会だととらえています。

■宮澤　私も少年野球でコーチをしていますが、久慈小学校ですら人数がギリギリです。スポ少は、親の負担が大きいというイメージがあり、それが参加者の減少に拍車をかけているように思います。

小学校はスポ少任せ、中学・高校は学校の部活動任せではなく、競技団体をはじめ地域全体で支援する体制を整える必要があると思います。

■市長　部活動のために他の中学校へ入学することも、地域から人が減る一因として問題になっています。少人数になれば、部活動の種類を減らさざるを得ないのは事実です。部活動は学校単位でやるという考え方自体を、改める必要があるのかもしれません。

■橋本　スポ少も部活動もメジャーなスポーツしかありません。私は高校でウェイトリフティングをやっていました。マイナーな競技ですが、インターハイなどで実績も上げていますし、久慈工業高校出身で大学チャンピオンになった人もいます。現在は、その人が教員になって、工業高校で指導しています。

さまざまな競技にチャレンジできるような、環境づくりも必要ではないでしょうか。

■市長　文化面でもそうですが「学んだ人が地元に戻り指導する」というサイクルができるといいと思っています。働きながら、指導者として普及に携われるような仕組み作りも必要だと思っています。

こんな久慈市に

■大澤　12月に入り、街中のイルミネーションがきれいで和みます。ちょっとしたことですが、それでみんなが少し明るくなる。そんな気配りを積み重ねて、明るいまちにできたらいいと思います。

■新井野　「あまちゃん」の熱気で久慈市がすごく盛り上がりました。今こそ、大きく変わるチャンスではないかと思います。一過性のブームで終わらないためにも、海女さんや琥珀、自然環境など、久慈の魅力を私たち市民がよく知り、より魅力的なものに育てていかなくてはなりません。自分たちが魅力的だと思わなければ、他所の人には絶対に伝わらないはずです。

私たち、ひとりひとりが、自分のまちを良くしていこうと考える気持ちを持つことが大事だと思います。

■大向　今年は旅行に行く機会が多くありました。新潟の観光地で、地元の人と話していると、お勧めの場所を教えてくれたり、親切に世話をやいてくれました。もし、私が久慈で観光客に会ったら、どういった歓迎ができるだろうか、お勧めできる場所はどこだろうか、と改めて考えさせられました。

もう1回来てもらうためにも、「あそこは良かったな」と言ってもらえるよう、気持ちの良い対応ができるようにしたいと思います。

■市長　外から訪れる人は、まちで出会った人が全てです。偶然であっても、嫌な対応を受ければ「あそこは嫌な所だ」となってしまいます。

久慈の人は純朴なところがいいと褒められますが、純朴だからあいさつもしないというのではいけません。素朴なりに積極的に声をかける、いい面での人の良さを出していって欲しい。市役所でも、まずは、あいさつからと職員に言っていますが、例えば「こんにちは」の一言でも、地元の人と笑顔でコミュニケーションができるまちであって欲しいと思います。

また、行政でもコミュニケーションが重要な時代です。物事を全てトップダウンで決めるのではなく、地域の生き残りをかけて、みんなの力を合わせてどうして行くべきかを考えなくてはなりません。広く意見を聞くために、さまざまな機会を設けていくので、市民の皆さんにも、どんどん発言し、協力して欲しいと思っています。

行政任せではなく「私はこんなことをしたい」「こうしたら久慈市はもっとよくなるのではないか」と、どんどん発信していただきたい。よりよい久慈市を、みんなの手でつくっていきましょう。

遠藤　譲一 市長

Joji Endo

新井野　徳光

Norimitsu Niino

久慈市役所建設部土木課に勤務。
今後の目標は「俺たちのまちを、素敵なまちへ!!!」

NEWS

独マインツ大齋藤教授が市内小中学校で科学講演会

科学の視点、子どもたちに

11月26日、ドイツのマインツ大学で宇宙物理学を研究している齋藤武彦教授が久慈小・夏井小・久慈中の3校で科学講演会（SAVE IWATEなど主催）を行いました。齋藤教授は、平成24年に個人的に被災地支援として長内中を訪問。以来毎年2回、東北の学校を回り講演を続ける中で、毎回久慈を訪れています。

講演では、次元の話に始まり「全てのものはクォークの集合」「宇宙の成り立ち」といった、いかにも難しそうな話を軽妙に語り、子どもたちをとりこに。北上山地に計画されるILCで何がわかるのか、何が変わるのかを語り「一緒に研究するために、勉強を頑張って」と呼びかけました。

元々は、放射線の知識を生かした支援を考えていたという齋藤教授。しかし、原発などの議論を通じて「大人たちが科学的な物の見方をできていないと感じ、子どもの時から科学に目を向けさせたいと考えました」と活動のきっかけを語ります。講演に関して「研究内容を含め、語りたいことは山ほど。でも、科学に興味を持つほんのきっかけになれば良いと考え、子どもたちが聞きたい内容を話すよう心がけています。もし、ILCができれば岩手は科学の中心地。岩手からも世界で活躍する科学者が出てきてほしいです」と期待を込めました。

銀河の模型と称する紙皿で説明する齋藤教授

実は難しい話ですが、子どもたちは楽しそう

NEWS

地産地消ふれあい給食（短角牛の日）

短角牛を食べて知って

11月27日、市内の小中学校で短角牛を使った「地産地消ふれあい給食」を実施。平山小学校では、遠藤譲一市長や生産者の中屋敷稔さんらが出席し、4年生の児童との給食会が行われました。

給食会の後に勉強会が行われ、約70頭の牛を飼育する中屋敷さんが、山に放牧されて自然の中で育つ短角牛について説明。「牛を売る時はさみしい気持ちもありますが、だからこそ皆さんに美味しく、残さずに食べてあげて欲しいです」と語りました。感想発表に立った本波琉珂（るか）くんは「短角牛は柔らかくておいしかったです。いろいろなことを教えてもらい良い勉強になりました」と話しました。

短角牛ビーフシチューを美味しそうにほおばります

NEWS

社会福祉法人「琥珀会」の設立を認可

地域に根差した施設に

遠藤市長から認可書を受け取る田代理事長（右）

12月8日、社会福祉法人「琥珀会」（田代文雄理事長）に対する認可書の交付式が行われました。

琥珀会は、小久慈町で特別養護老人ホームと老人デイサービスセンターの運営を計画。施設の整備を進め、平成27年度からサービスの提供を予定しています。

遠藤譲一市長から認可書を受け取った田代理事長は「地域に根差し、利用者が安心できる安定したサービスの提供が目標。そのためにも、職員が笑顔で仕事ができるような環境を作りたいと思います」と意気込みを語りました。

NEWS

永峰高志＆アンサンブル神戸アウトリーチコンサート

紡がれる音色に興味津々

校歌を演奏する永峰さん（右）と元気に歌う児童

12月3日、4日の2日間にわたり、市内の小中学校4校で、アンバーホール館長を務めるNHK交響楽団第2ヴァイオリン主席奏者の永峰高志さんとアンサンブル神戸によるアウトリーチコンサートが開催されました。

3日、久慈小学校を訪れた一行は、11月に完成したばかりの体育館で全校児童を前に、約1時間にわたり、クラシックやポップスを演奏しました。

楽器の特徴的な音を紹介しながら奏でられる演奏に、目を輝かせて聞き入った子どもたち。最後は演奏にあわせて、元気に校歌を斉唱しました。

一分間指揮者に挑戦し、楽団を指揮した佐々木愛惟さん（4年）は「ハープが素敵でした。音楽が好きなので、私も将来あんな演奏をしてみたいです」と話しました。

堂々と指揮者に挑戦

NEWS

こはくのまち合唱祭

伸びやかな歌声響かせる

合唱の振興を目的に、毎年行われている合唱ワークショップ。今年度は、6月から計8回にわたって開催され、市民ら約70人が歌の基本から息使いや発声などを学び、練習を重ねてきました。

11月30日、ワークショップの成果発表会を兼ねた「こはくのまち合唱祭」がアンバーホールで開催。ワークショップ参加者で結成された「こはくのまち合唱団」が、練習の成果を発揮し、伸びやかな歌声を響かせました。

9つ全ての合唱団による大合唱

また、今年は市内の5つの合唱団に加え、八戸や野田などから4つの合唱団が参加。フィナーレでは、9つ全ての合唱団180人で「花は咲く」を合唱し、明るい歌声を大ホールじゅうに、ところせましと響きわたらせました。

洋野町から参加した合唱団「グリーンエコー」の坂本裕哉さんは「八戸メンネル・コールはじめ、他の合唱団の歌を聞き、素晴らしいホールで歌い、良い経験になりました。また、機会があれば参加したいです」と話しました。

秋の童謡メドレーなどを発表したこはくのまち合唱団

熱い支援に感謝

義援金、寄付金

寄せられた義援金
1,224件
9,368万5,291円
（12月10日現在）

全国各地から義援金、寄付金が寄せられました。ご支援ありがとうございます。

11月11日～12月10日受付分
（敬称略）

義援金
■市内・団体
▶有限会社樹商事
■口座振替
▶キタムラギジュツ（カ

寄付金
■県外・団体
【東京都】
▶小金井市観光協会 第47回小金井お月見のつどい実行委員会
■ふるさと納税
県内…5件・県外…288件

一緒に登校し、親子のふれあいの機会にも

久慈湊小で親子登校

11月15日、久慈湊小学校で授業参観に合わせ、親子登校を実施しました。親子登校は、親子で一緒に登校し、通学路の安全や子どもたちがどのような様子で登校しているかを確認するものです。

2人の子どもを連れて登校した佐々木正則さんは「遊びながら歩いたり、信号の変わり目で急いで渡ったりと、危険な所もわかりました。周囲の確認をしっかりするように子どもたちにきちんと教えていきたいと思います」と話しました。

NEWS

第９回久慈市読書感想文コンクール

本を通じて思いを綴る

コンクール受賞者の皆さん

12月７日、中央公民館で第９回市読書感想文コンクールの表彰式が開催。加藤春男教育長から、各部門の入賞者に賞状が贈られました。

竹田恒泰著『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』を読み、高等学校の部で最優秀賞を受賞した工藤春菜さんは「題名に引かれて手に取った本ですが、読んでいく中で、日本の文化に対して多くの発見がありました。自分の素直な気持ちを書いて受賞できたので、とてもうれしいです」と喜びを語りました。

入選作品集は、市立図書館と山形図書館、各公民館で読むことができます。

加藤教育長から賞状が手渡されました

入賞者は次のとおり。（敬称略。各部門とも①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞）

■小学校低学年の部

①熊谷英里香（くまがいえりか）（長内小１年）
②下道翔汰（したみちしょうた）（来内小２年）
③宅石一葉（たくいしかずは）（小国小２年）

■小学校中学年の部

①廣崎希佳（ひろさきののか）（長内小４年）
②中目真子（なかめまこ）（小袖小４年）
③浅水琉夢（あさみずりゅうと）（侍浜小４年）

■小学校高学年の部

①佐々木凜華（ささきりんか）（久慈小５年）
②西野響（にしのひびき）（夏井小５年）
③下斗米雄大（しもとまいゆうだい）（久慈湊小５年）

■中学校の部

①三上将吾（みかみしょうご）（大川目中３年）
②佐々木晃誠（ささきこうせい）（久慈中１年）
③古屋敷琴乃（ふるやしきことの）（夏井中３年）

■高等学校の部

①工藤春菜（くどうはるな）（久慈高２年）
②亀田美那（かめだみな）（久慈高２年）
③粒来啓太（つぶらいけいた）（久慈高２年）

NEWS

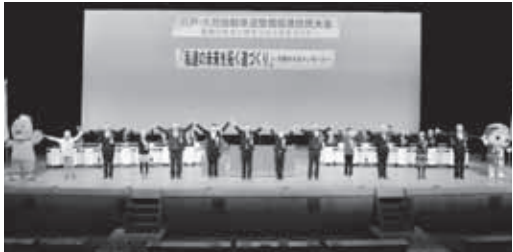
八戸・久慈自動車道整備促進住民大会

復興道路の早期完成に団結

八戸・久慈自動車道整備促進住民大会（同住民会議主催）は12月６日、アンバーホールで開催。八戸市から普代村までの沿線６市町村から約950人が参加し、復興道路の早期完成による地域の復興と活性化を願い、一致団結しました。

大会では、各市町村の小学生６人が道路整備に込めた熱いメッセージを提唱。ポスターコンクールの表彰式や高校生の意見発表も行われました。

最後は、道路の早期全線完成を要望する大会決議を、参加者全員が拍手で承認。「頑張ろう」を三唱して締めくくりました。

これからも、道路の必要性と早期完成を強く訴えていきましょう。

道路の早期開通に向け、みんなで頑張ることを誓いました

NEWS

農林水産省経営局長賞を受賞

多角経営で地域に貢献

佐々木会長（左）から表彰状の伝達を受けた田村社長（右）

農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた優良経営体として、有限会社田村牧場（田村英寛代表取締役）が農林水産省経営局長賞を受賞。11月25日、岩手県農業会議の佐々木和博会長から表彰状が伝達されました。

同社は、経営規模の拡大や合理化を進めるほか、焼肉レストランなどの経営の多角化にも取り組み、地域の先進的事例として大きく貢献したことが評価されました。

田村社長は「今後も皆さんの信頼を得ながら、６次産業化に力を注ぎます」と意欲をみせていました。

あっぱれ！100歳
ご長寿おめでとうございます

家族などに囲まれ祝福される善則さん（中央）

櫛桁（くしげた） 善則（よしのり） さん（長内町）

長寿の秘訣は「運」

11月20日に櫛桁善則さんが100歳を迎えました。入所する特別養護老人ホームで27日、長寿祝いが開かれ、遠藤譲一市長からお祝い状と祝い金を贈呈。続いて、孫の幹人さんから記念品が贈られ、善則さんはうれしそうに手を差し出して受け取りました。

若いころは関東方面に出稼ぎし、土木関係の現場監督を務めた善則さんの長寿の秘訣は「運かな」とのことです。

久慈湊保育園の子どもたちと前野さん（中央）

趣味のちぎり絵 紙芝居４点を寄贈

特別養護老人ホームぎんたらすに入所する前野フミさんは、ちぎり絵が趣味。これまでに約120点の作品を作っています。このほど、前野さんがちぎり絵で制作した紙芝居４点が、畑田保育園と久慈湊保育園に２点ずつ寄贈されました。

12月９日、前野さんが久慈湊保育園を訪れ、「おむすびころりん」と「さるかにばなし」の紙芝居を園児に手渡しました。寄贈された紙芝居が上演されると、園児らは目を輝かせながら見入っていました。

NEWS

若年労働者を対象とした意見交換会

若者同士で思いを共有

出された意見は紙にまとめて共有

地元で働く若者同士が交流し、お互いの悩みなどを相談できる機会として「若年労働者を対象とした意見交換会」（久慈雇用開発協会など主催）が市内催事場で開催。12月５日、久慈地域の16事業所から、就職して３年以内の若者35人が参加して、交流を深めました。

この日は、市内で林業会社を経営する小笠原巨樹さんが、各地の林業会社で修行した経験や、現在の経営者としての視点から講演。「大変なこともありますが、会社の人は、皆さんの努力を見ています」と激励しました。

若者にエールを送る小笠原さん

６人グループに分かれての意見交換では、職場での悩みや仕事のやりがいなどについて、ワークショップ形式で討論。業務や人間関係などでの悩みや「目標を遂げた達成感」、「感謝の言葉をもらうとうれしい」といったやりがいを出し合い、お互いの思いを共有していました。

NEWS

教育振興運動活動者等研修会

地域全体で学びをサポート

山形と軽米から実践事例の発表

県では、学校・家庭・住民が一体となり地域の教育課題の解決を目指す「教育振興運動」を推進しています。11月29日、アンバーホールで、同運動に関わるＰＴＡや放課後子ども教室関係者を対象とした研修会を開催。文科省の第７期中央教育審議会委員を務める生重（いくしげ）幸恵（ゆきえ）さんが講演を行いました。

生重さんは、学校で教わる以外に、地域や家庭から教わることも子どもの成長には大切であると説明。地域みんなが参加して、学校教育と連携した「地域教育」に取り組む必要があることを強調し「地域で協力し、子どもたちに社会参加する機会を作ってあげることが大切。それが地域から必要とされているというメッセージにもなり、子どもの自立心や生きる力につながると思います」と締めくくりました。

教育に地域全体を巻き込んでいく大切さを熱く語る生重さん

この日は、山形地区教育振興協議会と軽米町教育委員会からの事例発表も開催。地域社会でどのように学びの場を作っていくべきか、事例から学ぼうと、参加者らは熱心に聞き入っていました。

ごみを減らす ひと工夫

平成25年度、久慈市のごみ処理費用は約3億4,000万円。当たり前の話ですが、ごみの量が減れば処理費用も減らすことができます。

面倒なことはちょっと…という皆さんも、少しの工夫で税金を節約できるなら、やってみる価値があると思いませんか？そんな、ごみを減らすためのひと工夫を紹介します。

問生活環境課　☎54-8003

市内のごみ処理状況

市内の家庭ごみ排出量は、平成25年度の実績で約9500トン。換算すると、1人1日当たり約700グラムのごみを排出している計算になります。平成21年度以降、大きな増減はありません。

処理費用は税金です

ごみ処理費用の財源は、言うまでもなく、元をたどれば皆さんの税金です。

平成25年度の処理費用は約3億4千万円。これは、市の後期高齢者医療費に匹敵する額です。限られた財源を有効に活用するためにも、ごみの減量による処理費用の削減にご協力をお願いします。

削減のカギは生ごみ

家庭から排出されるごみの約80％は可燃ごみ。市の調査によると、その内の約45％が生ごみです。

生ごみの60～80％は水分。水分が多いほど燃焼効率が悪くなり、処理費用がかさみます。生ごみをどう減らすかが、ごみ処理費用削減の大切なカギとなります。

生ごみの減量は①使いきる②食べきる③水気をきるの3つの「きる」がポイントです。

ポイント① 使いきる

生ごみの約半分は調理くずだといわれます。食材を無駄なく使い、捨てる部分を減らすことが重要です。

ポイント② 食べきる

生ごみの残り半分は食べ残しと手つかずの食品です。必要以上に食材を買ったり作り過ぎたりしないこと。また、残さず食べることも大事です。

ポイント③ 水気をきる

家庭から出るごみ総量のうち、1／4が水分という計算になります。必要以上に濡らさないことや絞って水気をきるなどして、水分が混じらないようにする工夫が必要です。生ごみを直接触りたくないという人には、生ごみの水きりグッズも市販されています。

また、草刈りの際に刈り取った草を少し乾かしてからごみに出すことなども、水分が減り減量につながります。

Check 電動生ごみ処理機の購入に補助金

市では、家庭用の電動生ごみ処理機の購入に対して補助金を交付しています。購入前に交付申請が必要ですので、まずは問い合わせください。

▶対　象…市税を滞納していない市民

▶補助率…購入額の3／4（上限額：4万5千円）

問生活環境課　☎54-8003

Check 資源物の集団回収を支援しています

ごみの減量と資源化の促進を目的として、町内会や子ども会、老人クラブ、ＰＴＡなど営利を目的としない団体が資源物の回収活動を行う際に、その経費に対して補助金の交付をしています。交付を希望する場合は、事前に団体登録が必要です。詳しくは、お問い合せください。

問生活環境課　☎54-8003

品　目	補助金額
アルミ缶	1kgにつき20円
スチール缶	1kgにつき5円
新聞紙	1kgにつき5円
雑誌	1kgにつき5円
紙パック※	1kgにつき5円

※紙パック回収の補助金は、子ども会やＰＴＡなど環境教育の一環として取り組む団体に限ります

分別でごみを資源に

久慈地区粗大ごみ処理場に集められた燃えないごみの中には、本来は資源物として回収されるはずの飲料用のびんや缶が混在しています。これらは、分別回収されればリサイクルされて、新たな資源として役立つものです。

しかし、分別せずに混ぜて捨てられてしまえば、燃えないごみ。埋め立てにまわる量が増えれば、最終処分場を圧迫し、処理費用の増大にもつながります。

また、燃えるごみにも金属やガラスなどが混ざったまま捨てられており、燃焼炉を傷める原因になっています。

ごみを捨てる段階で、しっかり分別することで、資源の有効活用と処理費用削減につなげましょう。

分別方法の再確認を

現在、市では缶類・びん類・ペットボトル・紙類・発泡トレー・プラスチック製容器包装の6種類を資源物として分別回収の対象としています。

また、「同じ缶やびんの中でも、回収対象となるのは飲料用の物だけ」といったように、資源物として回収される物と、ごみとして処分する物に分かれます。

詳しい分別方法については、生活環境課で配布している『久慈市ごみ分別ガイドブック』に掲載されていますので、参考にしてください。

■参考／久慈市のごみ排出量の推移

年度	排出量	1人1日当たり排出量 ※（　）内は生活系ごみ
21	1万4,053トン	998グラム（699グラム）
22	1万3,921トン	998グラム（697グラム）
23	1万3,599トン	980グラム（699グラム）
24	1万3,475トン	978グラム（702グラム）
25	1万3,404トン	980グラム（696グラム）

収集された燃えないごみ。本来は資源物となる缶やびんが混在しています

ごみ捨てトピックス

トピック1

識別マークを参考に

現在、飲料用の他、しょうゆなど油を含まない特定調味料のペットボトルが資源物として回収の対象になっています。回収対象のペットボトルには、ラベルなどに識別用のＰＥＴマークが印字されています。迷った時はＰＥＴマークを確認しましょう。

トピック2

缶などはつぶさずに

缶やペットボトルは、一定のサイズに固めてからリサイクル業者に出荷する必要があります。つぶれた状態で回収されると、規格どおりに固められなくなってしまうので、「置き場所に困るのでつぶして保管する」といったことがないように、ご協力ください。

トピック3

スプレー缶に要注意

スプレー缶に中身のガスが残っていると、処理する過程で破裂してけが人が出ることがあります。スプレー缶は、必ず穴を開けた上で燃えないごみに出しましょう。穴を開ける際に、中身が噴出することもあるので、必ず使いきってから処理してください。

プラスチック製容器包装 分別方法のおさらい

平成25年度から**プラスチック製容器包装**の分別収集を実施しています。分別方法を再確認し、再資源化への協力をお願いします。

●ポイント

○回収の対象となるのは、**プラマークのついた容器包装**です。容器包装とは、商品を包んだりする際に使われた物で、中の商品を出したり使ったりすると不要となる「入れ物」のことです。

○汚れたもの、汚れを落としにくいものは対象外。他の容器にも汚れが付くと再利用が難しくなるので、**迷ったら燃えるごみに**捨てましょう。少しの汚れは、水で軽くすすいで落とし、よく乾かして出しましょう。

○ペットボトルのフタとラベル類はプラスチック製容器包装です。資源物の回収日に、ペットボトルを入れた袋とは分けて出してください。

○**透明または半透明の袋**に入れ、資源物回収の日に集積所へ出しましょう。

分別やごみの出し方などで分からない点がありましたら『**久慈市ごみ分別ガイドブック**』を参考にしてください。

ガイドブックは市ホームページからも見ることができます。

分別収集の対象になるもの

プラスチック容器包装かわからない場合は、プラマークを確認してください

緩衝材（プチプチ）

お菓子の袋・容器

卵パック

プリン・ゼリーの容器

ペットボトルのキャップ

インスタントラーメンの容器

食品用トレー

弁当の容器

分別収集の対象にならないもの

汚れたもの、容器包装ではないプラスチックは、燃えるごみに出してください

①汚れが落としにくいもの

マヨネーズ、歯磨き粉などのチューブ

②容器包装でないもの（製品本体）

バケツ、洗面器　CD（ケース含む）

三船久蔵十段没後50年記念特別展

三船久蔵の生涯展

本市の名誉市民であり「柔道の神様」とも称される三船久蔵十段。没後50年を記念し、当時の新聞記事や写真など、約200点の貴重な資料から、三船久蔵82年の生涯をひもとく特別展を開催しています。

■開催期間…平成27年３月１日(日)まで

問三船十段記念館　☎53−2110

■**会場**
市立三船十段記念館
久慈市川貫5−20−230

■**開館時間**
9時から16時30分まで

■**休館日**
毎週月曜日、各月最終火曜日、祝日（土・日・月曜日と重なる場合は火曜日）、年末年始（12月29日から1月3日まで）

■**入館料**
一般
400円（300円）
高校生・大学生
300円（200円）
小中学生
150円（100円）
※（　）内は団体料金（20人以上）

三船久蔵は、明治16年4月21日に久慈町(現久慈市)で米問屋を営む父・久之丞と母・アサの三男として誕生。明治30年に旧宮城県立第二中学校（現宮城県立仙台第二高等学校）に進学し、柔道と出会います。身長159センチ、体重55キロの小柄な体格だった久蔵ですが、その才能を開花させ、めきめきと上達。明治36年の講道館入門後は異例の速さで昇段し、昭和20年5月25日、62歳で柔道最高位の十段に昇りつめました。

柔道家として、東京帝国大学をはじめとする多数の大学や警視庁で師範として後進の育成に尽力。昭和39年に開催された東京オリンピックでも、新たに正式種目として採用された柔道の競技運営委員として成功に寄与するなど、柔道の普及や発展に多大な功績を残しました。

久蔵は、オリンピックの成功を見届けた翌年、昭和40年1月27日に東京都内の病院にて82歳で逝去。それから半世紀、平成27年は没後50年という節目の年に当たります。

本特別展は、没後50年の記念としてその偉業を顕彰し、後世に伝えるとともに、「柔道のまち・久慈市」を広く周知し「柔道のまちづくり」の推進に寄与することを目的に企画しました。久慈で過ごしたわんぱくな幼年期、仙台で柔道と出会った少年期、上京して講道館で猛稽古に励んだ青年期、「空気投げ(隅落)」を編み出した壮年期、円熟の域に達し十段に昇段した晩年期。それぞれの時期を象徴する当時の貴重な新聞記事や写真などを多数展示し、三船久蔵の生涯を知ることのできる展示となっています。

この機会に、久慈市が生んだ偉大な柔道家・三船久蔵十段の生涯に触れてみてはいかがでしょうか。

第47回 衆議院議員総選挙 開票結果

12月14日、第47回衆議院議員総選挙と第23回最高裁判所裁判官国民審査が行われました。本市の開票結果などは次のとおりです。

■選挙当日の有権者数

30,406人

■投票者数・投票率

区分	投票者数	投票率
小選挙区	17,454人	57.40%
比例代表	17,446人	57.38%

■小選挙区選出議員岩手県第２区

候補者氏名	票数(久慈市)
畑 こうじ	9,733票
久保 さちお	802票
すずき 俊一	6,670票

■比例代表選出

政党等名	票数(久慈市)
維新の党	913票
生活の党	5,295票
公明党	1,266票
日本共産党	1,328票
民主党	1,802票
幸福実現党	82票
自由民主党	5,101票
次世代の党	159票
社会民主党	569票

八戸・二戸・久慈 三圏域連携事業

二戸★トピックス

あなたのお味噌、土蔵で寝かせます

冬の里山 食の手仕事

～味噌づくりと串もち焼き体験～

浄法寺門崎（かんざき）の美味しい水と空気に育まれた地豆を使った寒仕込みの味噌（みそ）作りと、串もち焼きを体験できます。

▶**日時**… 1月17日(土) 8時40分～15時30分（予定）
▶**集合場所**…二戸駅ＩＧＲ改札前　※貸切バスで移動します
▶**参加費**…4,600円（バス・昼食代、体験料、保険料含む）
▶**定員**…22人　※先着順
▶**申込期限**… 1月9日(金)
問 銀河鉄道観光 ☎ 019-654-1489

それいけ！広報リポーター

小倉利之リポーター

手と口を動かしながら、楽しく作業しました

お正月に備え、しめ縄づくり体験

12月１日、生出町地区で"たぐきり"会が開催。小倉フクさんを講師に、しめ縄づくり体験が行われました。参加した17人は７年目とあってワラの見立てや縄なえ、挟み込みなど手付きも口も軽やか。同会の開催は毎月１日、誰でも参加できます。

梅沢政隆リポーター

つきたての餅で、きな粉もちづくりを体験

夏井中で楽しい収穫祭

12月３日、夏井中学校で収穫祭が行われました。１年生19人が育てて収穫したもち米「ヒメノモチ」で、地区の農家の方々から指導を受けながら、餅つき、きな粉餅や赤飯づくりなどを体験。全校生徒と地区の皆さんでおいしくいただきました。

大久保勝男リポーター

つきたてのお餅をおいしそうに食べる児童たち

小久慈小学校で餅つき

小久慈小学校の５年生が、春から米作りに取り組み、稲刈りや脱穀作業を体験。12月２日に行われた収穫祭では、父母たちに手伝ってもらいながら、体育館に用意された臼５つで餅つきや、のし餅作りを体験。あんこやきな粉などでおいしく食べました。

冬の始まり、餅とサケに歓喜

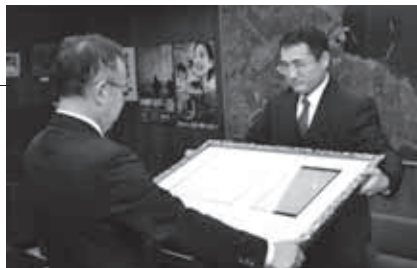
第１回北三陸くじ冬の市が開催

10年目を迎える北三陸くじ冬の市は11月23日、中心市街地で開かれ、市民など約2,300人が地場産のサケをはじめとする旬の味覚やイベントを楽しみました。

オープニングセレモニーでは、ちびっこあまちゃん隊や関係者による恒例の餅まきが行われ、会場は大盛り上がり。サケのチャンチャン焼きやイカ焼きの格安販売には来場者の長い列ができるほどの大盛況。新巻鮭作りの体験も行われ、来場者は魅力いっぱいの冬の訪れを感じていました。

１／お買い物券付きの餅まきに来場者も必死です　２／第１回のテーマ「サケ」のチャンチャン焼き　３／新鮮なサケを使って新巻鮭作りに挑戦する参加者

歴史や文化観光にも生かす

「北限の海女」台本複写を寄贈

海をイメージした額に収められた台本の複写

12月１日、晴山一貫さん（新井田）がラジオドラマ「北限の海女」台本の複写を市に寄贈。台本は祖父の福一郎さんがドラマの方言指導を行った際に使ったもので、当時の書き込みも残る貴重な資料。今後は、再建される小袖海女センターに展示予定です。

コミカルに演じ笑顔を誘う

読書ボランティア朗読劇を発表

劇の上演は今年で４回目。朗読劇は初の取り組みです

11月18日、小久慈小学校で同校の読書ボランティア「どっと笑楽」が朗読劇を上演。出演者は魔女や山姥に扮し、オリジナル脚本の「ゆたかくん、熊さんに出会った」をコミカルに怪演。同校の小田島誠一副校長も好演し、子どもたちの笑いを誘っていました。

熱演！「海女照」

久慈市民おらほーる劇場第８回公演

11月23日、山形町の山村文化交流センター（おらほーる）で久慈市民おらほーる劇場の第８回公演「海女照 AMATERASU」が上演。昼の部・夜の部の２回公演で、あわせて約500人が鑑賞しました。

今年のテーマは、自然との共生。山から流れ着いた「磯治」と、海から流れ着いた「オジョウコ」。２人を利用し自らの勢力拡大を狙う獣神と海神。囚われの母親を奪還するべく両者に立ち向かう２人と、海と山に翻弄されながらも、したたかに生きる浜の住人たち。そして「緑青の渦」が発生し…。機を失したと分かるや、あっさりとコミカルに引き上げていく獣神海神に対し、高笑いする浜の住人を配したラストシーンが印象的です。

今年度は、脚本・舞台美術・衣装・音楽に至るまで全てオリジナル。熱演を見せた出演者と、裏方の情熱あふれる舞台に、客席からは惜しみない拍手が送られました。

１／浜の住人といさかいを起こす磯治（左）　２／高笑いする浜の住人たち　３／このメイク、もしや僕たち悪役かに？　４／脇役の名演も魅力的　５／終了後はアットホームにお見送り

地域の昔話語り継ぐ

大川目むがぁすむがす祭

朗読に、絵や小道具も駆使して発表します

11月30日、大川目公民館で地域の昔話を語り合う「大川目むがぁすむがす祭」が開催。総合学習で伝承活動に取り組む大川目小学校３年生が、地元の言葉で昔話を発表すると、堂々とした「訛り」と語りに会場から大きな拍手が送られました。

山根温泉新たな魅力を模索

べっぴんの湯感謝祭

縄ないチャンピオンからその極意を教わります

11月30日、旧山根小中学校で「べっぴんの湯感謝祭」が開催。会場では、ステージ発表や縄ない選手権などのイベントが行われたほか、この日お披露目となったオカラを使用した新商品の販売も行われ、来場者から好評を博しました。

歌やダンスに温かい拍手

歳末たすけあい芸能大会が開催

元気いっぱいに踊る山口保育園の園児たち

12月14日、歳末たすけあい運動の一環として「歳末たすけあい芸能大会」がアンバーホールで開かれ、保育園や福祉・ボランティア団体など21団体が出演。ステージで披露される歌やダンスに、会場からは温かい拍手が送られていました。

募金を重ねて福祉に貢献

日本地下石油備蓄が市社協に寄付

坂本会長に募金を手渡す野見山所長（中央右）

12月18日、日本地下石油備蓄㈱久慈事業所（野見山哲夫所長）は、社員から募った募金125,485円を久慈市社会福祉協議会に寄付しました。同社の寄付は24回目で総額2,665,723円になります。募金は、地域での福祉活動のために活用されます。

市内の小・中学校で英語を教えている市の外国語指導助手の皆さんが、久慈市で生活していて感じたことなどを紹介するコーナーです

My life in Kuji

シャニス・マイヤーズ さん

メリーランド州・22歳 ／ 夏井小、久喜小、小袖小、久慈中、宇部中、山形地区の小中学校を担当

みんなをつなぐ「食べ物」

外国で生活することは、不安もあるけどワクワクすることもあります。その中で、私が久慈に来て経験した「いいな」と思うことの１つは、実家以外にも素敵な「家族」ができることです。

数週間前、幸町町内会の婦人部のイベントに参加して、豚汁をはじめとするたくさんの日本食の作り方を教わりました。クリスタと私が作ったおにぎりの変な形に笑ったり、みんなで美味しい料理を食べたり、ズンバダンスを踊ったりしました。

アメリカと日本では、文化の違いがたくさんありますが、今回の交流を通じて、「食べ物」はみんなをつないで、幸せな思い出をつくっているんだと気が付きました。

ぶらりくじ歩き

約2㌔のぶらり旅 まちなか歌碑さんぽ

問中央公民館　☎53-4606

MAP

市内の景観を眺めながら「歌碑さんぽ」してみませんか

白鳥が飛来する季節。冬の風を感じながら石碑を読みつつ、まちなかを散歩してみませんか。

最初は三陸鉄道久慈駅前の「小田観螢」帰省の歌。次は、市街地を一望できる巽山稲荷神社。鳥居の左側に「芭蕉」の句碑がひっそりと建っています。続いて長福寺にある、江戸時代後期の俳諧文化の中心的存在「梅星軒馬来」の句碑。最後は久慈川の河川敷を散歩しながら、中央公民館・図書館の前庭にある小田観螢の叔父「小田為綱」の顕彰碑です。

約2㌔の歌碑めぐりの後は図書館へ。郷土などの歌人を深く知って、思いをはせてみませんか。

市内各地区の場所や物、行事などを紹介するコーナーです

いきいきキッチン

問 久慈市食生活改善推進員協議会
☎61-3315

刺身のしそ棒ギョーザ

用意する材料（４人分）

ミニトマト…２個　こんにゃく…20g　長芋…20g　大葉…４枚　刺身…４切れ　米粉棒ギョーザの皮…４枚　ポン酢しょうゆ…小さじ４　オリーブオイル…適宜　水、片栗粉…適宜

作り方

❶ミニトマトは、薄く横にスライスする。長芋、こんにゃくは拍子切りにする。
❷ギョーザの皮を広げ、大葉、❶、刺身を重ねて巻く。両端は、指で空気を抜くようにして皮を密着させる。
❸フライパンにサラダ油を熱し、皮を合わせた面から焼く。両面をきつね色になるまで焼いたら、水溶き片栗粉を加えてフライパンにふたをし、３分程度弱火で蒸す。ふたを外して水気をとばしたら完成。
❹ポン酢しょうゆに、お好みでオリーブオイルを加え、❸をつけていただく。

※１人分の栄養量　エネルギー 40kcal、食塩相当量 0.2g

ワンポイント

・ギョーザを押さえつけるように焼くとパリパリに仕上がります。

〇今月の担当…久慈２地区（河北）

久慈地域は脳卒中で亡くなる人が県内ワースト１。食事は「適量・適塩」に心がけましょう。

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、地域の栄養教室や離乳食指導などの食育活動を行う市食生活改善推進員の皆さんが、手軽でおいしい郷土料理や、旬の食材を使った料理などを紹介するコーナーです

きらり人輝く

大粒来 耕大 くん

おおつぶらい・こうだい（田屋町　12歳）

耕大くん（右）と、制作コーチ役の祖父・勝男さん（左）

津波の予言者「じぇじぇ海女神」

大粒来耕大くんは、５年生の夏休みに制作した彫刻「じぇじぇ海女神」で、昨年６月に行われた第38回全国児童・生徒木工工作コンクール（日本木材青壮年団体連合会主催）の小学校高学年の部で部門第一位の農林水産大臣賞を受賞。同賞の受賞は、久慈管内では初めてとなる快挙です。

材料は、津波の後に前浜に打ち上げられた流木で、数十年も海の中にあったと見えるカツラの木。キクイムシに食べられて穴だらけになった木から、アンコウ・ナマズをイメージして彫りだし、「津波の予言者 じぇじぇ海女神」と名付けました。

特徴的なちょうちんの支柱とヒゲは、庭に生えているシダレザクラの枝。ナンブアカマツの樹皮を岩に見立てたこだわりの台座は、松ぼっくりの貝やマツ・スギの葉の海藻で飾られています。

祖父の勝男さんに指導され、毎年木工に取り組んでいる耕大くん。「今年からは中学生。勉強もスポーツも頑張りたいです」と語ってくれました。

作品は、市役所１階の市民ホールに１月の下旬まで展示されていますので、ご覧ください。

Profile

久慈湊小学校の６年生。好きな食べ物はブドウ。将来の夢は「電車が好きなので新幹線の運転手」か「考古学者になって遺跡を発掘したい」とのこと。

集まれ！元気の輪

朗読劇ユニットやまねこけん

代　表：大西健一さん　☎53-4606（中央公民館）
活動日：毎月１回程度
活動場所：市立図書館

どんぐりと山猫の一場面。朗読だけのはずが、だんだん動きや衣装にも凝りだして…とのこと

台本を持って音読し、声による演技で劇を表現する朗読劇。「やまねこけん」は、読み聞かせ講習の受講者で結成した、自主企画講座の朗読劇ユニットです。昨年５月の結成以来、これまでに洋野・二戸・久慈で３公演を実施しており、演目も宮沢賢治の童話から「注文の多い料理店」など３本に増加。メンバーが、話を知っている人も知らない人も楽しめるように、工夫を凝らしています。

次回は、市立図書館で２月21日（土）14時から「鹿踊りのはじまり」を初披露。お誘い合わせのうえ、ぜひ一度、見に来てください。

図書館だより

1月の利用案内

《市立図書館》 ☎ 53-4605

■開館時間… 9 時～ 19 時（土日祝は 17 時まで）

■休館日… 1 (木)～ 3 (土)、5 (月)、13 (火)、19 (月)、26 (月)

《山形図書館》 ☎ 72-3711

■開館時間…10 時～ 18 時

■休館日… 1 (木)～ 3 (土)、5 (月)、12 (月)、13 (火)、19 (月)、26 (月)

おすすめ図書

「実験対決 学校勝ちぬき戦 17 科学実験対決漫画」

ゴムドリCO／文 ホンジョンヒョン／絵
朝日新聞出版

目で起こる、さくし現象のしくみ、目・耳・口・舌・皮膚など感覚器官の構造と機能、ちゅうすう神経系とまっしょう神経系の機能や、まひなどを通して、「刺激と反応」のしくみにふれてみよう！

「パレートの誤算」

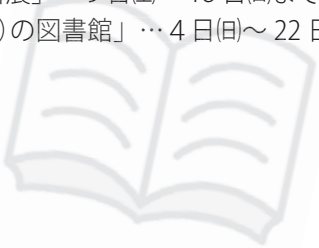
柚月裕子／著 祥伝社

ケースワーカーはなぜ殺されたのか。優秀な先輩の素顔を追って、女性ワーカーが生活保護の闇を炙りだす！受給者、ケースワーカー、役人・・・それぞれの思惑が交錯する。釜石出身の作者がおくる渾身の社会派サスペンス。

イベント情報

●企画展「賢治さんを読もう！」… 1 /21 (水)～ 2 /22 (日)
●図書館映画会…10 (土)① 10:30～ ② 14:30～
●読み聞かせ会「チビッコの部屋」…①10 (土)②24 (土) 14:00
●冬休みおすすめ本展… 1 /20 (火)まで
●ブックスタート（会場：元気の泉）…15 (木)① 4 ～ 5 カ月児 10:30～ ② 6 カ月児 13:30～

●巡回展「啄木資料展」… 9 日(金)～ 18 日(日)まで
●企画展「干支（羊）の図書館」… 4 日(日)～ 22 日(木)まで

生活環境だより

消費者トラブルQ＆A

不審な電話やはがきに注意！

問 消費生活センター ☎ 54-8004

○こんな時は消費生活センターに相談を！

Q「払い過ぎた医療費を返すので、口座番号を教えてほしい」という電話が来た。

A 振り込めサギの可能性があります。相手の連絡先を聞き取り、相談してください。

Q「代金の未納があるので連絡をください。連絡が無ければ、法的手段を取ります」というはがきやメールが来た。

A 架空の請求でお金をだまし取ろうとする手口です。連絡を取る前に相談しましょう。

家電は正しくリサイクル

家電４品目にはリサイクル義務

問 生活環境課 ☎ 54-8003

テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫、エアコンの家電４品目は、次のいずれかの方法で、正しくリサイクルしましょう。

▶小売店に依頼…リサイクル料金のほか、運搬料金が別途加算される場合があります
▶直接搬入…郵便局でリサイクル料金を支払い後、自ら指定業者に直接搬入が必要です
▶戸別収集…リサイクル料金のほか、運搬料金が必要ですが、電話一本で依頼可能です
問 日通家電リサイクルセンター ☎0120-319604

元気健康だより

～自分を認め、自分を褒めよう～ 思春期について

問 山形福祉室 ☎ 72-2143

高安 愛美 保健師

自分らしく、焦らず、思春期を乗り越えよう！

今月の元気さん

松坂トセさん（山形町・72 歳）

サロンリーダー、元活サポーター（介護予防ボランティア）で活動中です

思春期は、心身ともに大きく成長し、心理的にも身体的にも子どもから大人への移行期です。たくさん悩み、反抗し、気持ちが揺れ動きながら、自分で考え、大人として自立していくために、誰もが通る大切な時期です。

他人と自分を比べて落ち込んだり、一体自分は何者であるか、何をしようとしているのか、などと悩むことがあります。まずは、自分を認め、良いところに目を向けてみましょう。自分なんて、と決めつけているのは自分自身かもしれません。苦しいこと、つらいことがあっても生きている自分は偉い！よくやっているね！と自分を褒めてあげましょう。

また、悩んだ時には、友達や大人に相談することで気持ちが軽くなることもあります。

思春期の子どもを持つ親や、それに関わる大人の方々は、子どもの急激な変化に悩まされ、対応に苦しむこともあるでしょう。子どもを信じて見守りながら、理解し、共に考え、支えていくことが大切です。

子育て応援だより

利用案内

子育て支援センター （川崎町11−1） ☎52−3210
■対象・利用料…未就学児と保護者・無料
■利用時間…①月～金 8時30分～17時 ②土 8時30分 ～13時30分
■休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日

※通常の休館日のほか、1月1日(木)から1月3日(土)までの間も休館になります。

日	時間	行事名
7 (水)	13:30～15:00	赤ちゃんサロン 対象…1歳3か月までの赤ちゃんとその保護者
9 (金)	終日	あそびの教室 対象児が決まっているため自由来所はできません
14 (水)	10:30～12:00	みずき団子作り（要申込）
22 (木)	10:00～11:00	育児講座「ママとヨガを楽しもう」（要申込） 対象…1～3歳のお子さんとその保護者・15 組
27 (火)	10:00～14:00	ひよこ教室

オススメの声

４月から毎週利用しています。お母さん同士の情報交換も楽しいし、相談に乗ってくれる先生もいて安心です。

山本 良子さん（天神堂）と長男の陽貴ちゃん

今月の元気ちゃん

中田 有咲ちゃん（6歳・門前保育園）

大きくなったら保育園の先生になりたいです。今、ピアノ習ってるよ！

編集後記

全４回の「くじ冬の市」が始まっています。寒い時期だからこそ味わえる旬のものっていいですね。▽昨年は、私の腰痛もまずまず。今後も体をだめながら、趣味に仕事に励みます。私も皆さんも良い一年になりますように！（水上）

１月号は、年末配付で締切が早かったため、11月からノンストップな進行でした。裏表紙の写真撮影で、カメラを２台持って行き、どちらにもSDカードが入っていなかった時は、我ながらさすがに疲れてるなと思いました。（後）

なつかしタイムカプセル

若水桶

元旦に初めてくむ水を「若水」と呼び、邪気を除くとされました。特別な桶でくみ、米を炊いたりお茶を入れたりしました。

INFORMATION

暮らしの情報

このページでは、くらしに役立つ情報をお知らせします。

★本庁舎 ☎52-2111
★山形総合支所 ☎72-2111
★宇部支所 ☎56-2111
★侍浜支所 ☎58-2111
★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からも掛けられます

タックスゼミナール

▶日時…1月22日㈭14時～
▶会場…アンバーホール ※参加無料
▶内容…相続税・贈与税の税制改正
▶申込期限…1月19日㈪

問 久慈法人会 ☎52-2273

消防出初め式

1月12日（月・祝）、9時15分からアンバーホールで開催。分列行進（10時30分～11時30分ころ）に伴い、市街地で交通規制が行われます。ご理解とご協力をお願いします。

問 消防防災課 ☎52-2173

募集

成人スイミング教室

18歳以上を対象にしたスイミング教室を開催。正しい泳ぎ方や練習方法を身につけ、水泳に親しんでみませんか。

▶期間…1月23日㈮～3月20日㈮までの毎週金曜日・13時45分から14時45分（全8回・2月13日を除く）
▶会場…福祉の村屋内温水プール
▶定員・参加料…20人・4,000円
▶申込期限…1月21日㈬

問 福祉の村屋内温水プール ☎53-9292

海洋・水産研究セミナー

サケ・サクラマスの調査研究のほか、ホヤの資源増殖・養殖事業化に向けた取り組みなどを講演します。

▶日時…1月20日㈫14時～16時25分
▶会場…久慈地区合同庁舎
▶申込期限…1月14日㈬

問 産業開発課 ☎52-2369

子育て支援計画への意見

市では、4月から施行される予定の子ども・子育て支援新制度に向けた「子ども・子育て支援事業計画（案）」に対する意見を募集しています。

▶閲覧場所…子育て支援課（市役所1階）、山形福祉室（山形総合支所）、各支所
▶応募方法…住所、氏名、電話番号を明記し、①郵送②ファクス③メール④持参のいずれかの方法で応募 ※様式は問いません
▶募集期限…1月14日㈬

■応募先
◇郵送…〒028-8030／久慈市川崎町1―1／久慈市役所子育て支援課宛て◇ファクス…52-2367◇メール…kosodatetantou2@city.kuji.iwate.jp

問 子育て支援課 ☎52-2169

市営住宅空きあります

住宅名	戸数	家賃（月額・円）
川井団地①	1	2,900～4,300
川井団地②	1	3,300～4,900

▶申込期限…1月15日㈭

問 建築住宅課 ☎52-2120
問 山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

教員志望者に奨学金

九戸地方育英会では、教員を目指して大学などに進学する人に奨学金をお貸しします。

▶応募資格…久慈管内に本籍があり、4年制大学などに入学見込みの人（在学中も可）
▶奨学金…月額3万円
▶申込期限…3月23日㈪

問 総務学事課 ☎52-2154

県学生会館の入寮生

岩手県学生援護会では、東京都豊島区にある本県出身者用の学生寮「岩手県学生会館」の入寮生を募集します。詳しくは問い合わせください。

▶入寮資格…寮から通学できる大学、短期大学などに入学する学生
▶入寮期間…2年間（延長規定あり）
▶寮費…月8万500円（朝夕の食事、共益費、自治会費を含む）
▶募集人数…男子15人・女子20人
▶選考方法…書類および面接

面接日	申込受付期間	会場
2/18㈬	1/20㈫～2/13㈮	アイーナ（盛岡市）
3/10㈫	2/19㈭～3/5㈭	

問 岩手県学生援護会 ☎03-3972-4783

無料の映画上映会

認知症の老いた母親とその息子が織り成す、笑いと涙にあふれた触れ合いをつづった「ペコロスの母に会いに行く」を上映します。

▶日時…1月31日㈯13時30分～
▶会場…アンバーホール・小ホール
▶定員…先着300人 ※無料
▶申込方法…住所、氏名、電話番号を明記し、ファクス（52-8660）かメール（info@kita-sanriku.org）で申し込み

問 北三陸塾（リハビリタウンくじ内）☎53-0056

無料でスキルアップ

コース	期間	定員
ホームページ作成応用	7/23㈫～24㈬	15
ネットショップ入門	7/29㈫～30㈬	10

▶会場…久慈職業能力開発センター
▶申し込み…開始日の2週間前まで

問 久慈職業能力開発センター ☎53-6261

簡単！楽しい！親子遊び

身近にあるものを使った親子で楽しめる運動遊びなどを紹介します。

▶日時…1月28日㈬10時～11時30分
▶会場…市民体育館サブアリーナ
▶定員…就学前児童とその保護者25組程度 ※入場無料
▶申込期限…1月27日㈫

問 いわて子育てネット ☎019-652-2910

お知らせ

医療費の負担限度額が変更

1月から、病院や薬局で支払う自己負担限度額が、世帯の所得に応じて5段階に細分化されます。

病院の窓口での支払いを、自己負担限度額にとどめるには、事前に「限度額適用認定証」の交付を受ける必要があります。現在、交付を受けている人には、新たな認定証を送付します。申請方法など、詳しくは問い合わせください。

問 市民課国保グループ ☎52-2118

IP電話からの119番に注意

停電のときは、一部の電話機を除いてインターネット回線を利用した「IP電話機」、「電源を必要とする電話機」からの119番通報ができなくなります。緊急時は、携帯電話や公衆電話などを利用してください。

電話機の機能や設定方法は、機器の取扱説明書を確認するか、販売元などに問い合わせください。

問 久慈消防本部 ☎53-0119

税の申告・届け出忘れずに

■固定資産税の償却資産申告

平成27年1月1日現在で、市内に事業用の償却資産を所有している人は申告が必要です。電子申告システム「eLTAX」での申告も受け付けます。

▶申告期限…2月2日㈪

■取り壊したら届け出を

居宅、物置、車庫などを取り壊した場合は「家屋取壊届出」を税務課に提出してください。

■固定資産税の相談に応じます

これから取得を考えている土地・家屋の固定資産税など、気になることは気軽にご相談ください。

問 税務課 ☎52-2114

差押財産を公売します

市税の滞納処分として差し押さえた財産をインターネットオークションで公売します。詳しくは市ホームページまたは「Yahoo! 官公庁オークション」のページをご覧ください。

▶申込期間…1月7日㈬13時～23日㈮23時
▶入札期間…1月30日㈮13時～2月1日23時
▶公売物品…絵画2点 ※物品は予定なく変更する場合があります。

問 収納対策課 ☎52-2368

住まいの復興給付金

東日本大震災で被災した人が、消費税率引き上げ後（H26.4.1以降）に住宅を新築・補修した場合、消費税率引き上げ相当分が給付されます。詳しくは問い合わせください。

問 復興推進課 ☎54-8005

書きぞめ教室

趣味、冬休みの課題などにもどうぞ。
▶日時…1月12日（月・祝）10時～
▶会場…やませ土風館 ※要申込
▶受講料…1,000円 ※資料・材料代

問 晴山書道教室 ☎53-3808

法務局市民講座

無料の市民講座を二戸合同庁舎で開催します。各回とも定員25人です。（要申込）
①1/23㈮13:30～「遺産相続と遺言」
②1/30㈮13:30～「成年後見登記制度」

問 盛岡地方法務局二戸支局 ☎0195-25-4811

Walk the four seasons

～久慈の四季めぐり～

三角山の展望台から望む市街地

上／アンバーホールの天辺も、少しだけカラフルに
下／光あふれる夏井町の鳥谷峯さん宅。毎年、イルミネーションを見に多くの人が訪れます。

うみ・そら・まちに輝く

冬の夜を彩る光

いよいよ草木も枯れ色。目に映る景色の彩度が下がる季節を迎えますが、一方で「冬ならでは」の、色彩あふれる鮮やかな風景にも出会うことができます。
身を切るような寒さの中、三角山に登ってみると、周りの木々の葉が落ちた展望台からは、市街地方面を一望することができます。遠く水平線の彼方にはスルメイカを追うイカ釣り漁船の集魚灯が輝き、澄み切った夜空には煌々（こうこう）とした月と瞬く星。眼下には、暖かな街の灯りが広がり、クリスマスのイルミネーションや慌ただしく走る車のライトが師走の街を彩ります。
うみ・そら・まち。冬の夜を彩る光の競演です。

わがやのアイドル

下舘（しもだて）　京加（きょうか）ちゃん（3歳）
下舘邦雄さんの孫（新井田）

滝澤（たきさわ）　啓光（ひびき）くん（3歳）
滝澤利光さんの子（宇部町）

未就学の子どもと、ペットの写真を募集しています。写真に必要事項（氏名、年齢、性別、住所、申込者との続柄）を添えて、久慈市役所の広報くじ担当まで郵送ください。写真は掲載後にお返しします。

声の広報、お届けします

ボランティア団体「声の広報『おとさた』」では、目が不自由な人を対象に音声で読み上げる『広報くじ』、『くじ市議会だより』、『社協だより　しあわせＳＵＮ』の音訳ＣＤを作成し、ご家庭にお届けしています。
詳しくは問い合せください。
問久慈市社会福祉協議会　☎53−3380

発行　久慈市　／　編集　総合政策部　〒028−8030　岩手県久慈市川崎町１番１号　☎ 0194−52−2111　FAX 0194−52−3653
ホームページアドレス　http://www.city.kuji.iwate.jp/　／　印刷　㈲ヘイハン印刷